

鳥取県歯科医師会

令和元年度事業報告書

実施事業等会計

【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

(1) 障がい者歯科診療事業

会員協力医2名体制（輪番）で、毎週木曜日の午後に診療を行った。また、鳥取県から委託を受け、日本障害者歯科学会の指導医等を招聘して、臨床実習を伴う講習会を開催した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	4	4	4	4	4
受診者数	58	66	60	60	54	51

※ 受診者数はのべ人数

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
診療日数	5	3	4	4	4	4	47	3.9
受診者数	66	41	67	66	54	68	711	59.3

《 第1回講習会 》

日時	令和元年9月12日（木） 14:00～18:30
会場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県口腔総合保健センター
臨床研修	実際の患者対応等について指導を受けた（診療終了後、カンファレンス約1時間）
講師	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 学科長 教授 森崎市治郎氏
参加者数	会員5名 歯科衛生士6名

《 第2回講習会 》

日時	令和2年2月27日（木） 13:00～18:30
会場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県口腔総合保健センター他
講演会	13:00～14:30 障害者歯科診療とは？ ～地域の歯科関係者がなすべきこと～
臨床研修	実際の患者対応等について指導を受けた（診療終了後、カンファレンス約1時間）
講師	日本障害者歯科学会専門医 鳥取県歯科医師会 東部口腔保健センター障害者歯科診療部 部長 吉川浩郎氏
参加者数	講演会53名 臨床研修 会員6名 歯科衛生士6名

(2) 口腔疾患予防処置及び歯科相談事業

会員の輪番制で、毎週火曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕（むし歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	4	3	4	5	3	2
受診者数	2	4	5	5	10	5

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	3	3	3	3	2	5	40	3.3
受診者数	2	4	7	5	3	13	65	5.4

(3) 歯科健康診断事業

共済組合などから委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	62
事業所健保組合	2	23
島根健保連	2	医院請求

【継続事業2】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業

(1) 歯科医学・医術振興事業

① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会・鳥取県歯科法医学会

著名な臨床医を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける鳥取県歯科医学会、会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（10:00～11:15 演題：5題）を開催した。

今年度は、「歯科界をとりまく環境の現状と未来 保険収載されたメタルフリー臨床の極意～高騰している金パラからの脱却を目指して～」と題して、日本歯科医師連盟会長 高橋英登氏を講師に迎え、鳥取県学術講演会を開催（参加者93名）した。

また、広島県歯科医師会配信、参加6県（鳥取・島根・山口・香川・高知・鹿児島）による日本歯科医師会生涯研修セミナーライブ研修をサテライト受講した。

《 鳥取県歯科医学会 》

日 時	令和元年12月8日（日）11:30～15:30
会 場	鳥取市吉方温泉3-751-5 鳥取県歯科医師会館
演 題	正常な永久歯列にするための混合歯列期の管理
講 師	須貝歯科医院 院長 須貝 昭弘氏
参加者数	歯科医師47名（うち島根県歯3名） 歯科衛生士等9名 合計56名

《 日本歯科医師会 生涯研修セミナー ライブ研修 》

日 時	令和元年12月15日（日）10:00～14:35
会 場	鳥取市吉方温泉3-751-5 鳥取県歯科医師会館（中・西部テレビ中継）
テ ー マ	歯科医療の原点と将来を見据えて ～カリオロジーの新たなステージへ～
参加者数	会員27名

(2) 歯科保健活動助成事業

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会及び鳥取県歯科技工士会に活動助成金としてそれぞれ20万円を交付した。

(3) 歯科保健推進事業

① 県民歯科保健公開講座（鳥取県補助事業）

より多くの県民の方に正しい歯科保健知識を普及するため、口腔衛生について分かりやすく説明する5分間のテレビ番組を制作し、放映した。

テーマ	40歳から65歳まで（壮年期）の歯科保健指導
番組タイトル	40歳から65歳まで（壮年期）の歯科保健講座
放映	日本海ケーブルネットワーク13回 鳥取中央有線放送6回 中海テレビ放送13回

② 鳥取県口腔衛生関係者研修会

県内の保育士、養護教諭等を対象として、子どもの歯科保健指導の充実を図ることを目的に口腔衛生に関する知識を習得する研修会を鳥取県及び母子保健推進会議と共同で開催した。

日時	令和元年8月8日（木）10:00～13:00
会場	鳥取市尚徳町101-5 とりぎん文化会館 第1会議室
演題	口腔機能発達不全症を有する小児の口腔管理
講師	新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科分野 准教授 齊藤一誠氏
参加者数	保育園等23名 学校関係15名 県市町村関係14名 各種団体2名 歯科関係43名 児童養護施設6名 合計103名

③ 在宅医療推進研修会

今年度は開催休止

④ 学校歯科保健推進事業

学校関係者を対象として、歯科保健活動の重要性について理解を深め、子どもたちの望ましい生活習慣の形成と様々な健康課題の解決を目的とする研究大会は今年度は休止し、日本学校歯科医会生涯研修制度の基礎研修会及び更新研修会を開催した。

《 基礎研修 》

日時	令和元年9月8日（日）9:30～12:50
会場	倉吉市東巖城町68 鳥取県中部歯科医師会館
内容	学校歯科医がその職務を行ううえでの基礎となる「学校保健の概念」「保健教育」「保健管理」「組織活動」に関する基礎的事項を習得する
講師	一般社団法人鳥取県歯科医師会 理事 倉繁雅弘氏 同 隅田秀樹氏
参加者数	会員40名

《 更新研修 》

日 時	令和元年10月6日(日) 9:00~10:20
会 場	鳥取市吉方温泉3-751-5 鳥取県歯科医師会館(中・西部テレビ中継)
内 容	基礎研修受講修了者が学校歯科保健に関する新たな事柄もしくは各種法令などに基づく変更点について知見を取得する
講 師	一般社団法人鳥取県歯科医師会 公衆衛生委員長 縄田昌彦氏
参加者数	会員48名

⑤ 鳥取県からの受託事業

〔むし歯予防フッ化物洗口事業〕

幼児期から学齢期のむし歯を予防するため、県内の施設等を対象として、フッ化物洗口法(うがい)を実施できる体制を整備した。今年度は保育園1園、小学校2校で実施するとともに、各自治体への出前説明やブクブク洗口推進レターの発行、体験実施などの普及啓発を行った。

〔高齢者施設における口腔機能向上推進事業〕

歯科を受診する機会の少ない高齢者施設の入所者に対して口腔健康診断(東部1施設、中部1施設、西部3施設)及び健診後フォローを実施した。また、施設職員を対象とした歯科保健研修会を各地区で開催した。

〔歯科医師認知症対応力向上研修事業〕

歯科医師等による口腔機能の管理を通じて、認知症の疑いのある人に早期に気づき、認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うための研修会を開催した。

日 時	令和元年11月3日(日) 9:30~12:30
会 場	倉吉市上井195 エキパル倉吉 多目的ホール
演 題	認知症の人の口を支える視点 断る理由にしないために
講 師	東京都健康長寿医療センター(病院) 歯科口腔外科部長 (研究所) 自立促進と精神保健研究チーム研究部長 平野浩彦氏
参加者数	歯科医師42名 歯科衛生士21名 多職種1名 合計64名

〔成人歯科健診プログラム・保健指導研修会〕

成人期における歯科疾患の一次予防推進に必要な人材を育成するため、医療保険者及び地域・職域保健関係者(保健師、看護師、管理栄養士等)を対象に、歯科口腔保健の意義、標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導に関する研修会を開催した。また、生活歯援プログラムの活用方法、セルフケア等についての演習(東・中・西部地区各1回)に加え、スキルアップ研修も行った。

⑥ 地域歯科医療連携室

〔地域医療介護総合確保基金事業〕(鳥取県補助事業)

地域包括支援センター等の他機関と連携しながら、在宅歯科医療希望者への歯科診療所の照会、在宅歯科医療等に関する相談、在宅歯科医療を実施しようとする医療機関に機器の貸出を行う地域歯科医療連携室(本会及び地区歯科医師会)を運営した。

前年度に引き続き、連携室を広く周知するためのポスター・リーフレットを作成し、関係機

関に配布するとともに、全国レベルの学会参加、各種講習会（口腔ケア関連、連携室関係職種レベルアップ研修会等）の開催、行政・多職種からの要望事項の協議や課題の検討を行った。

〔訪問歯科衛生士養成支援事業〕（鳥取県補助事業）

通院が困難な在宅患者を訪問して口腔ケア指導等を行う訪問歯科衛生士を養成するため、歯科医院や介護施設等に勤務する歯科衛生士を対象に実習を含めた在宅歯科医療に関する研修会を開催した。

《 東部地区 》

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

《 中部地区 》

日 時	令和元年11月28日（木）14：00～17：00
会 場	東伯郡琴浦町赤碕 1061-3 介護老人福祉施設 百寿苑
講義・実習	要介護者の口腔ケア
講 師	時の里 高場由紀美氏
参加者数	歯科衛生士6名 施設職員21名 合計27名

《 西部地区 》

日 時	令和2年2月23日（日）9：30～13：00
会 場	米子市両三柳 104-1 鳥取県西部歯科医師会館
講 義	歯科訪問診療において歯科衛生士に必要なマインドと知識 ～介護保険制度の理解からアセスメントまで～
講 師	神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 講師 澤田美佐緒氏
参加者数	歯科医師7名 歯科衛生士28名 合計35名

施設実習（2施設）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

〔医療介護連携のための多職種連携等研修事業〕（鳥取県補助事業）

地域のリハビリ拠点病院と歯科医師会における医科歯科連携の推進及び連携構築に中心的役割を担う人材を育成するため、日本リハビリテーション病院・施設協会と共催で「口のリハビリテーション医科歯科連携インストラクター講習会」を開催した。

日 時	令和元年11月17日（日）9：50～17：00
会 場	米子市錦町 1-139-3 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
内容・講師	1) 口のリハビリテーションとは 長崎リハビリテーション病院 理事長 栗原正紀氏 2) なぜ医科歯科連携・多職種協働が必要なのか？ ～摂食咀嚼嚥下機能の回復による生活参加の支援～ みどりヶ丘病院リハビリテーション科 部長 森脇美早氏 3) パート1 四足歩行動物と乳児と成人での誤嚥リスクの相違 パート2 離乳期に学ぶ成人に対する摂食咀嚼嚥下リハビリテーション 一般社団法人TOUCH 代表理事 舘村 卓氏 4) 成熟型の摂食咀嚼嚥下動作の調整とリハビリテーション 大阪歯科大学医療保健学部医療保健学科 教授 糸田昌隆氏

	5) 医科歯科連携に役立つ栄養・リハ栄養の基礎知識 横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 准教授 若林秀隆氏
参加者数	歯科医師37名 歯科衛生士60名 医師1名 看護師9名 言語聴覚士49名 管理栄養士13名 理学療法士13名 作業療法士5名 介護職3名 合計190名

〔鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業・健口機能向上支援モデル事業〕

鳥取県後期高齢者医療広域連合から業務委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に歯科健康診査（問診・咀嚼機能評価・舌機能評価・嚥下機能評価・口腔内診査）を行った。

《 鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業 》

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康寿命の延伸を図るため、歯・歯肉、口腔清掃や口腔機能状態等をチェックする歯科健康診査を実施した。

受診期間	令和元年6月1日～令和2年1月31日
協力医院	東部62医院 中部28医院 西部63医院 合計153医院
受診者数	東部137名 中部159名 西部715名 合計1,011名

《 鳥取県後期高齢者医療健口機能向上支援モデル事業 》

市町村及び山陰言語聴覚士協会と連携し、市町村が指定する会場で集団歯科健康診査を行い、口腔健康に関する啓発や健診結果のフォローアップ教室等を実施した。

実施期間	令和元年6月1日～令和2年1月31日
実施状況	米子市7回75名 境港市1回11名 湯梨浜町3回23名 合計11回109名

(4) 歯科保健普及啓発事業

① 歯と口の健康週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

歯と口の健康週間（6月4日から10日までの7日間）の日曜日に県民を対象として、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の早期発見を目的に、無料で歯についての各種相談（歯みがき、歯並び矯正、粘膜疾患等）、歯科健康診査、フッ化物応用を東・中・西部の3か所で、地区歯科医師会と共同で開催した。

区分	東 部	中 部	西 部
日 時	令和元年6月9日(日) 9:00～11:30	令和元年6月9日(日) 9:00～11:30	令和元年6月9日(日) 9:00～11:30
会 場	鳥取県歯科医師会館	鳥取県中部歯科医師会館	鳥取県西部歯科医師会館
来場者数	279名	295名	510名
歯科医師	34名	19名	18名
歯科衛生士	25名	21名	34名
歯科技工士	8名	—	14名

(5) 歯科保健コンクール事業

① よい歯のコンクール事業

生涯を通して歯科保健に対する関心を高め、県民の健康増進を図るため、親子・高齢者・小学校6年生を対象として、鳥取県と協力（親子・高齢者）しながら公正な審査を実施し、被表彰者を決定・表彰、公表した。

《 親子のよい歯のコンクール 》

最優秀 鳥取県知事表彰 2組
優 秀 鳥取県歯科医師会長表彰 3組

《 高齢者のよい歯のコンクール 》

最優秀 鳥取県知事表彰 65～74歳1名 75歳以上1名
優 秀 鳥取県歯科医師会長表彰 65～74歳2名 75歳以上1名

《 小学校6年生のよい歯のコンクール 》

鳥取県歯科医師会長表彰 最優秀2名 優秀4名

② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、日本学校歯科医会・日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

(6) 歯科医療管理事業

① 医療管理講演会

会員及び医院スタッフ等を受講対象として、医療安全対策、危機管理対策、法的知識、接遇マナーなど受診しやすい診療所を目指すため、診療所運営全般に関する講演会を開催した。

日 時	令和2年2月2日(日) 10:00～13:00
会 場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県歯科医師会館(中・西部テレビ中継)
内容・講師	10:00～12:00 HIV医療講習会 HIV感染症と職業感染防止対策 鳥取大学医学部附属病院 感染制御部 教授 千酌浩樹氏 12:00～13:00 院内感染防止対策研修会 エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策(実践マニュアルに基づく基本的な事項) 鳥取県歯科医師会 医療管理担当常務理事 日本歯科医療管理学会 代議員 認定医 小田浩一氏
参加者数	会員99名 勤務医・スタッフ等10名 合計109名

② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

③ 歯科医療会員調査事業

かかりつけ歯科医機能を充実させ、よりよい診療所を目指すため、会員の診療形態・意識・保険制度改正時の対応状況などを調査した。

(7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配布した。

【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業（鳥取県からの受託事業）

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校（鳥取県立歯科衛生専門学校／1年生30名、2年生24名、3年生25名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

その他会計

【その他の主要な事業以外の事業】

(1) 会員の福利厚生事業

① 会員表彰披露・祝賀会

厚生労働大臣表彰、日本歯科医師会長表彰などを受賞された会員をお祝いする祝賀会を開催した。

日時	令和元年9月14日（土）18:00～20:30
会場	鳥取市今町2-153 ホテルニューオータニ鳥取
内容	樋口壽一郎先生旭日小綬章受章祝賀会
参加者数	会員58名 来賓36名 事務局6名 合計100名

日 時	令和2年1月18日(土) 16:30~19:10
会 場	鳥取市今町2-153 ホテルニューオータニ鳥取
内 容	各種表彰受賞者紹介 記念品贈呈 新入会員紹介 アトラクション(サックス演奏)
参加者数	会員68名 来賓44名 事務局11名 合計123名

② 会員フェスティバル

会員相互の親睦交流、健康増進、心身リフレッシュのため、スポーツ大会や懇親会を全国歯科医師国民健康保険組合鳥取県支部、鳥取県歯科医師連盟と共同で開催した。

《 各地区対抗親睦野球大会 》

日 時	令和元年6月23日(土) 8:10~11:50
会 場	東伯郡三朝町本泉 685 町営三朝球場
第1試合	中部チーム / ◎東部チーム 0:4
第2試合	東部チーム / ◎西部チーム 4:5
第3試合	中部チーム / ◎西部チーム 3:7

《 懇親会 》

日 時	令和元年8月24日(土) 18:00~20:00
会 場	倉吉市上井町1-9-2 ホテルセントパレス倉吉
アトラクション	シンガーソングショー 野球大会表彰式 福引
参加者数	会員63名 健康講演会講師1名 アトラクション出演者1名 事務局5名 合計70名

《 同好会行事 ゴルフ大会 》

日 時	令和元年8月25日(日)
会 場	西伯郡伯耆町丸山 1532 大山平原ゴルフ倶楽部
参加者数	16名

③ 同好会助成事業

会員の同好会活動の活性化を図るため、野球同好会とゴルフ同好会にそれぞれ8万円の経費の助成を行った。

(2) 中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業

《 中国地域歯科医師会 親睦野球大会 》

中国地域で年1回開催される野球大会に参加し、会員の健康増進や他県との交流を図った。

日 時	令和元年11月24日(日) 8:30~
会 場	広島市安佐南区大塚東 1-1-1 広島修道大学内野球場
参加者数	15名

法人会計

【法人の管理業務】

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。